

令和2年度第2回富山県私立学校審議会議事録

- 1 日 時 令和3年3月23日(火) 15時00分から15時40分まで
- 2 場 所 富山県民会館 611号室
- 3 定 数 12名
- 4 出席委員の
数及び氏名 10名
伊東潤一郎 井上春枝 上田雅裕 河合敦夫
黒崎紫抄代 須田英克 坪池 宏 中田正幸
野口教子 前川俊朗
- 5 欠席者 2名 喜田裕子 里見治美
- 6 傍聴人数 無

7 諮問事項

- (1) 出町青葉幼稚園の廃止認可について
- (2) ひかり幼稚園の廃止認可について
- (3) 入善幼稚園の廃止認可について
- (4) 富山赤十字看護専門学校の廃止認可について
- (5) 臼井美容専門学校服飾・家政専門課程の廃止認可について

8 報告事項

- (1) 令和3年度全国私立学校審議会連合会中部支部協議会について

9 議事の経過及び結果

- (1) 開会にあたり、事務局から富山県私立学校審議会規程第7条における委員総数12名のうち10名出席により定足数に達しており、会議が有効に成立したことが報告された。
- (2) 蔵堀政策監より挨拶があった。
- (3) 富山県私立学校審議会規程第2条の規定により会長の選出が行われ、中田正幸委員が会長となった。
- (4) 富山県私立学校審議会規程第9条の規定により中田正幸会長が議長となった。
その後、富山県私立学校審議会規程第4条の規定により会長代理の指定が行われ、引き続き黒崎委員が会長代理となった。
- (5) 議事録署名人の選出について、議長の指名により、井上春枝委員、上田雅裕委員が選出された。
- (6) 出町青葉幼稚園ならびにひかり幼稚園の廃止認可について、資料2、3、参考資料1により事務局から説明があり、議長から委員に意見が求められた。

(議長)

これまでも幼保連携型認定こども園への移行はあったわけで、特に意見もないようである。出町青葉幼稚園ならびにひかり幼稚園の廃止について、認可を適当と認める旨、答申してよろしいか。

(委員全員)

よろしい。

(7) 入善幼稚園の廃止認可について、資料4により事務局から説明があり、次のとおり質疑応答と意見があった。

(野口委員)

手続き上のこととはいえ、法令上抵触する事態について何かペナルティはあるのか。

(事務局)

学校教育法第13条には、法令の規定に故意に違反したときなどの場合においては、当該学校の閉鎖を命ずることができることとある。

今回は「故意」には当たらないと考えられることと、廃園を目指している園に対して「閉鎖」を命ずるのはいかがかということがあり、法人に対して法令を遵守し、今後このようなことがないように、当室から指導したところである。

(野口委員)

廃園を目指す園に対して閉鎖命令を行うということとは変な話であるということももったもである。そのことについては了解した。

売却されたのが今年の7月と伺った。当局として新聞報道でその事実を知ったとのことであったが、それはいつの時点であったのか。

内容的に仕方のない部分もあったのかもしれないが、時期によってはこの私学審議会に何らかの報告等ができたのではないか。コロナ禍において集まるのが難しかったとしても、委員に対して報告することはできたのではないか。

(事務局)

新聞報道は、令和2年7月31日に北日本新聞に「旧幼稚園を使い地域おこしを開始」という記事が掲載された。記事の中に入善幼稚園とあったことから、法人に内容について確認をし、この事実を把握するに至った。

また、委員への報告等については委員のおっしゃるとおりであり、今後、委員の皆様に対して報告すべき事案が生じた場合には速やかに対応してまいりたい。

(議長)

そのほかに意見がないようであれば、入善幼稚園の廃止について、認可を適当と認める旨、答申してよろしいか。

(委員全員)

よろしい。

(8) 富山赤十字看護専門学校の廃止認可について、資料5により事務局から説明があり、次のとおり質疑応答と意見があった。

(黒崎委員)

計画的に生徒数を減らしてきていたということであるが、学校によっては社会的ニーズを考慮し、規模を縮小してでも運営を続けている学校もある。今回はそのような形で継続するという考え方はなかったのか。また、赤十字病院に設置される看護専門学校の運営について廃止の傾向があるのか、全国的な流れなどがわかっているならばお聞かせ願いたい。

(政策監)

富山赤十字看護専門学校については年々生徒数が減少し、80名という定員に対してその半分の40名も在籍していないことに加え、3年制の看護学校に対する需要が減ってきているのが現状である。県においては県立大学において4年制での看護師養成を始めているが、現役看護師からも、医療も看護も高度化してきており3年制の学校を卒業し、いきなり現場で従事しても大変であるということから看護師の基礎教育を4年間でしっかりと行ってほしいという声も聞いている。また、赤十字では大学や専門学校をいくつか運営しているが、やはり4年制にシフトしていくというのが全国的な流れとなっていると聞いている。

(議長)

そのほかに意見が出ないようであれば、富山赤十字看護専門学校の廃止について、認可を適当と認める旨、答申してよろしいか。

(委員全員)

よろしい。

(9) 白井美容専門学校服飾・家政専門課程の廃止認可について、資料6により事務局から説明があり、議長から委員に意見が求められた。

(議長)

特に意見が出されなかったようだが、白井美容専門学校服飾・家政専門課程の廃止について、認可を適当と認める旨、答申してよろしいか。

(委員全員)

よろしい。

(10) 全国私立学校審議会連合会令和2年度総会について、事務局から説明があった。

- (11) 令和3年度全国私学審議会連合会中部支部協議会の開催概要(案)について、事務局より報告があった。
- (12) 事務局より、今回の審議会の案件がすべて終了した旨を伝え、審議会を終了した。